



平成 21 年 5 月 28 日

各 位

会 社 名 東宝株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 高井 英幸
(コード番号 9602 東証、大証各第1部、福岡)
問 合 せ 先 常務取締役
経理・財務担当 浦井 敏之
TEL(03)3591-1221

(訂正) 平成 21 年 2 月期 決算短信一部訂正に関するお知らせ

平成 21 年 4 月 24 日に発表いたしました、平成 21 年 2 月期決算短信の記載内容について、一部訂正がございますのでお知らせいたします。

なお、訂正箇所には____を付して表示しております。

記

【訂正箇所】 44 ページ

4. 連結財務諸表 (6) 連結財務諸表に関する注記事項

〈訂正前〉

(税効果会計関係)

前連結会計年度 (平成 20 年 2 月 29 日)	当連結会計年度 (平成 21 年 2 月 28 日)
1 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳 ＜略＞ 固定資産 退職給付引当金 2,009 百万円 未払役員退職慰労金 534 百万円 貸倒引当金繰入限度超過額 385 百万円 減価償却費損金算入限度超過額 400 百万円 減損損失 1,742 百万円 繰越欠損金 1,206 百万円 投資有価証券評価損 3,994 百万円 その他 1,489 百万円 繰延税金資産小計 11,763 百万円 評価性引当額 △7,889 百万円 繰延税金資産合計 3,873 百万円 繰延税金負債 △2,315 百万円 繰延税金資産の純額 1,557 百万円 ＜略＞	1 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳 ＜略＞ 固定資産 退職給付引当金 2,043 百万円 未払役員退職慰労金 593 百万円 貸倒引当金繰入限度超過額 391 百万円 減価償却費損金算入限度超過額 852 百万円 減損損失 1,868 百万円 繰越欠損金 2,693 百万円 投資有価証券評価損 6,495 百万円 その他 1,427 百万円 繰延税金資産小計 16,366 百万円 評価性引当額 △12,448 百万円 繰延税金資産合計 3,918 百万円 繰延税金負債 △2,595 百万円 繰延税金資産の純額 1,323 百万円 ＜略＞

〈訂正後〉
(税効果会計関係)

前連結会計年度 (平成20年2月29日)		当連結会計年度 (平成21年2月28日)	
1	繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳 ＜略＞	1	繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳 ＜略＞
	固定資産		固定資産
	退職給付引当金 2,009 百万円		退職給付引当金 2,043 百万円
	未払役員退職慰労金 534 百万円		未払役員退職慰労金 593 百万円
	貸倒引当金繰入限度超過額 385 百万円		貸倒引当金繰入限度超過額 391 百万円
	減価償却費損金算入限度超過額 400 百万円		減価償却費損金算入限度超過額 852 百万円
	減損損失 1,742 百万円		減損損失 1,868 百万円
	繰越欠損金 1,206 百万円		繰越欠損金 2,693 百万円
	投資有価証券評価損 3,994 百万円		投資有価証券評価損 6,495 百万円
	その他 1,489 百万円		その他 1,407 百万円
	繰延税金資産小計 11,763 百万円		繰延税金資産小計 16,346 百万円
	評価性引当額 △7,889 百万円		評価性引当額 △12,448 百万円
	繰延税金資産合計 3,873 百万円		繰延税金資産合計 3,898 百万円
	繰延税金負債 △2,315 百万円		繰延税金負債 △2,575 百万円
	繰延税金資産の純額 1,557 百万円		繰延税金資産の純額 1,323 百万円
	＜略＞		＜略＞

以上